

主催：東北大学大学院国際文化研究科・2025年度研究科長裁量経費によるプロジェクト

## シンポジウム

# 文字・声・リズム—フランス文学の臨界点で—

日時：2025年12月13日（土）14：00～17：30

場所：東北大学 片平北門会館2階 エスパス

趣旨説明	坂巻康司（東北大学）	・・・・・ 14：00～14：10
第一部 基調講演	森田俊吾（奈良女子大学） 「書かれた言葉はどのように〈声〉になるのか——現代リズム論からの問い」	・・・・・ 14：10～15：10
第二部 口頭発表	(① 中世) 武藤奈月（東北大学）「声から文字へ、文字から声へ——古フランス語韻文物語における口承性——」 (② 17世紀) 鈴木真太朗（盛岡大学）「文体に潜むリズム、リズムが越える理性—— パスカル『パンセ』を中心に——」 (③ 18世紀) 石田雄樹（神戸大学）「レチフ・ド・ラ・ブルトンヌにおける声と文字—— 教育・改革・自伝」 (④ 19世紀) 廣田大地（神戸大学）「芸術の凋落の中での詩的技巧——『悪の花』に みるリズムの逸脱」	・・・・・ 15：20～15：40 ・・・・・ 15：40～16：00 ・・・・・ 16：00～16：20 ・・・・・ 16：20～16：40
第三部 全体討議		・・・・・ 16：50～17：30
総括		・・・・・ 17：30

連絡先：東北大学大学院国際文化研究科・坂巻研究室 ([koji.sakamaki.a8@tohoku.ac.jp](mailto:koji.sakamaki.a8@tohoku.ac.jp))

## 【概要】

文学は一体、どのように作品として生成され、我々の前に立ち現れるのでしょうか？

本シンポジウムでは、文学作品の根源にある「文字」「声」「リズム」に着目します。先ず、アンリ・メショニックを中心に現代詩を幅広く研究する森田俊吾氏に基調講演をしていただきます。その講演を受けて、中世、17世紀、18世紀、19世紀の各時代の文学を研究する武藤奈月氏、鈴木真太朗氏、石田雄樹氏、廣田大地氏の4名が、それぞれの専門領域について語りつつ、各世紀における問題の所在を明らかにします。最後に全体討議において、文学の「臨界点」はどこにあるのかについて探ってみます。

## <登壇者紹介>

### 森田俊吾（奈良女子大学専任講師）

現代フランス文学。2011年上智大学卒業。2013年東京大学大学院修士課程修了。2021年新ソルボンヌ大学博士課程修了。2024年より現職。共著に *Zum Rhythmuskonzept von Henri Meschonnic in Sprache und Translation* (Universitätsverlag Hildesheim, 2021)、『戦後フランスの前衛たち：言葉とイメージの実験史』(水声社、2023年) その他。

### 武藤奈月（東北大学文学研究科助教）

中世フランス文学。2016年リエージュ大学大学院修士課程修了。2017年東京大学大学院修士課程修了。2023年ソルボンヌ大学大学院博士課程修了。2025年より現職。論文に「クレチャン・ド・トロワにおける香り」(『フランス語フランス文学研究』120号、2022年) その他。

### 鈴木真太朗（盛岡大学文学部准教授）

17世紀フランス文学。2022年東北大学大学院博士後期課程修了。東北大学助手、大谷大学助教を経て、2023年より現職。新ソルボンヌ大学招聘研究員。共著に *L’Inscription du fait religieux dans les écrits personnels en France au xviiie siècle* (Classiques Garnier, 2025)。

### 石田雄樹（神戸大学国際文化学研究科准教授）

18世紀フランス文学。2013年東北大学大学院文学研究科博士前期課程修了。2015年クレルモンフェラン大学Master2修了。2018年東北大学大学院文学研究科博士後期課程修了。2021年より現職。共著に『語りと主観性：物語における話法と構造を考える』(ひつじ書房、2022年) その他。

### 廣田大地（神戸大学国際コミュニケーションセンター准教授）

19世紀フランス文学。2006年大阪大学大学院文学研究科博士前期課程修了。2011年新ソルボンヌ大学大学院博士課程修了。大谷大学助教を経て、2013年神戸大学講師。2016年より現職。共編著に『抒情の変容：フランス近現代詩の展望』(幻戯書房、2024年) その他。

## <司会、コーディネーター>

### 坂巻康司（東北大学大学院国際文化学研究科教授）

19世紀フランス文学。2007年パリ第8大学大学院博士課程修了。2008年東北大学大学院准教授。2019年より現職。共編著に『近代日本とフランス象徴主義』(水声社、2016年)、『象徴主義と<風景>』(水声社、2018年)、『詩人の場所、星々の時間』(水声社、2025年) その他。